

JCS
冠動脈 CT 検査
レポート構造化記述規約
Ver. 1.0

2025 年 7 月
一般社団法人 日本循環器学会

JCS 冠動脈 CT 検査レポート構造化記述規約 Ver. 1.0

ま え が き

医療現場において、診療記録、検査報告書、診療情報提供書、各種サマリ等多くの診療文書が使用されている。放射線治療部門において発生する多くの診療文書は、従来紙上で記述されるか、ワープロソフトや各ベンダーの独自形式での電子化あるいは PDF といった形式で作成されていることが多かった。ICT の発展と共にさらに電子的な情報共有によりそれら診療文書の情報を治療に活用したり、さらには人的ミスによる医療事故を未然に防止したりすることへの期待が高まっている。この人的ミスには、診療情報や検査結果が対象部門に十分に伝わらなかったため、それらが適切な治療に結びつかなかったことが含まれる。標準化された医療情報交換により診療部門間及び医療機関間の正確な情報連携を実現し、システム間の情報連携がスムーズで確実に進めることが望まれている。

これらに対応するため HL7 CDA (Clinical Document Architecture) による実装も数多く試みられているが、CDA による記述の裁量範囲が広いため、同じような目的の診療文書が異なった仕様で実装されてしまう可能性がある。そのため可能な限り共通であるべき情報は共通仕様としてまとめ、共通の考え方で実装することを目的に、CDA 記述規約の整備が各団体によって進められている。

循環器診療分野においても各種検査レポートの標準化のニーズは高まってきており、日本循環器学会では冠動脈 CT 検査レポートを対象とした規約を策定することにした。策定にあたっては、項目や表現の検討を日本医学放射線学会および日本循環器学会と協力して行った(策定協力者名簿は末尾に記載)。また、仕様としては、すでに本邦における CDA 記述規約を進めている、保健医療福祉情報システム工業会 (JAHIS) 殿の規約共通編 (「JAHIS 診療文書構造化記述規約 共通編」) を引用している。冠動脈 CT 検査レポート固有の仕様、特に日本循環器学会が推奨するレポート記載項目との整合をとりつつ、国内 (Realm=JP) における基本的な部分をとりまとめ、規約共通編と組み合わせて利用することを前提に本規約の編纂を行った。

本規約を利用することで循環器診療分野における電子的診療文書の基本部分の共通化、医療の ICT 化に期待された様々な有効性を実現するためにお役立て戴くことを期待している。

2025 年 7 月

一般社団法人 日本循環器学会

<< 利用にあたって >>

本規約は関連団体の所属の有無に関わらず、規約の引用を明示することで自由に使用することができるものとします。ただし一部の改変を伴う場合は個々の責任において行い、本規約に対する改変箇所を明示することを求めます。

本規約ならびに本規約に基づいたシステムの導入・運用についてのあらゆる障害や損害について、本規約作成者は何らの責任を負わないものとします。ただし、関連団体所属の正規の資格者は本規約についての疑義を作成者に申し入れることができ、作成者はこれに誠意をもって協議するものとします。

目 次

1. はじめに	1
1.1. 本規約と JAHIS 診療文書構造化記述規約共通編 の位置付けについて	1
2. CDA の特徴と扱いについて	2
3. 主な用語と参照規格	2
3.1. 主な用語	2
3.2. 参照する他規格・マスタ	2
4. 適用範囲	3
5. 記載の説明	4
5.1. HL7 CDA R2 仕様	4
5.2. 規定表の記載基準	4
6. 診療記録共通記述部	4
7. CDA ヘッダ部	5
7.1. CDA 文書のための XML 記述	5
7.2. CDA ヘッダの構成	5
7.3. 電子診療文書“ClinicalDocument”の構成	5
7.4. ドキュメントヘッダ情報	5
8. CDA ボディ部	6
8.1. ボディ部定義	6
8.2. ボディ部構成	6
8.2.1. 冠動脈 CT 検査レポート Coronary CT examination Report	6
8.3. 共通セクション	7
8.3.1. 患者付帯情報	7
8.4. 個別セクション	7
8.4.1. 検査情報 Examination Information	7
8.4.2. セグメント所見 Findings by coronary artery segment	10
8.4.3. サマリ Summary	14
付録 1. 本個別編で使用するコード類	16
付録 1.1 ヘッダ部	16
付録 1.2 ボディ部	16
付録 1.3 コードシステムとコード表	17
付録 2. 作成者名簿（敬称略）	19

1. はじめに

本規約は冠動脈 CT 検査に関するレポート情報を記述するための規定を定めるものである。

1.1. 本規約と JAHIS 診療文書構造化記述規約共通編 の位置付けについて

本規約は国際標準規格である HL7® CDA® R2 を採用しており、本邦における CDA の基礎的実装要件を規定している JAHIS 診療文書構造化記述規約 共通編 Ver.2.0（以下、「JAHIS 規約共通編」）を、本規約の基礎実装要件としている。すなわち、本規約内では、JAHIS 規約共通編に記載されていない冠動脈 CT 検査レポート固有の仕様を定義した内容を記載しており、各診療文書で共通的に利用可能と思われる仕様は JAHIS 規約共通編を参照している。したがって、本規約と JAHIS 規約共通編を組み合わせ使用されたい。

以下の図は、本規約に準拠する冠動脈 CT 検査レポートの構造概要図である。

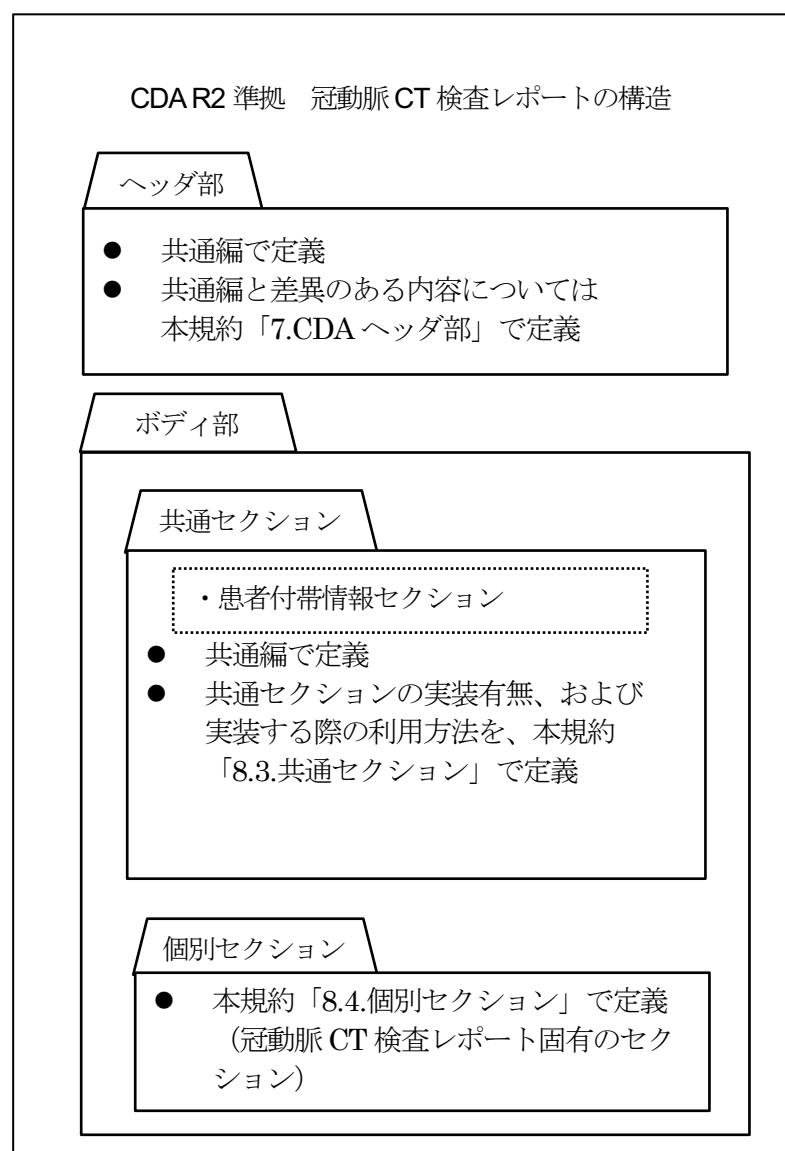


図 1.1.1 冠動脈 CT 検査レポート 構造概要図

2. CDA の特徴と扱いについて

JAHIS 診療文書構造化記述規約 共通編 Ver.2.0「2. CDA の特徴と扱いについて」を参照のこと。

3. 主な用語と参照規格

JAHIS 診療文書構造化記述規約 共通編 Ver.2.0「3. 主な用語」を参照のこと。

以下は、共通編との差異のみを記載する。

3.1. 主な用語

JAHIS 診療文書構造化記述規約 共通編 Ver.2.0「3. 主な用語」を参照のこと。

以下は、共通編に記載がない用語を追加説明する。

JCS (The Japanese Circulation Society) :

一般社団法人日本循環器学会

JCS 公式ホームページ : <https://www.j-circ.or.jp/>

3.2. 参照する他規格・マスタ

本規約では、以下の他規格を参照するとともに、マスタの使用を想定している。

(1) 規格 (規約)

ISO/HL7 27932:2009 Data Exchange Standards — HL7 Clinical Document Architecture, Release 2

<https://www.iso.org/standard/44429.html>

※HL7 でもダウンロード可能 (共通編参照)

JAHIS 診療文書構造化記述規約共通編 Ver.2.0

<https://www.jahis.jp/standard/detail/id=729>

(2) マスタ (コード)

JCS データ出力標準フォーマットガイドライン

https://j-circ.or.jp/itdata/jcs_standard.htm

LOINC (Laboratory Object Identifier and Numerical Code)

<https://loinc.org/>

4. 適用範囲

以下に、本規約で定義したテンプレートの規定表（概要部）を示す。

Template : ドキュメント

テンプレート	2.16.840.1.113883.2.2.1.5.101 – Coronary CT examination report
ID	2.16.840.1.113883.2.2.1.5.101
バージョン	2025.5.1
クラス分類	CDA ドキュメントレベル テンプレート
解説	冠動脈 CT 検査レポートを作成する。

※ 詳細は、「8.2.1. 冠動脈 CT 検査レポート」参照

Template : 検査情報セクション

テンプレート	2.16.840.1.113883.2.2.1.5.102 – Study Information
ID	2.16.840.1.113883.2.2.1.5.102
バージョン	2025.5.1
クラス分類	CDA セクションレベル テンプレート
解説	検査情報を記載するセクションとして定義する。

※ 詳細は、「8.4.1. 検査情報」参照

Template : セグメント所見セクション

テンプレート	2.16.840.1.113883.2.2.1.5.103 – Findings by coronary artery segment
ID	2.16.840.1.113883.2.2.1.5.103
バージョン	2025.5.1
クラス分類	CDA セクションレベル テンプレート
解説	セグメント所見を記載するセクションとして定義する。

※ 詳細は、「8.4.2. セグメント所見」参照

Template : サマリセクション

テンプレート	2.16.840.1.113883.2.2.1.5.104 – Summary of coronary CT examination results
ID	2.16.840.1.113883.2.2.1.5.104
バージョン	2025.5.1
クラス分類	CDA セクションレベル テンプレート
解説	冠動脈 CT 検査のサマリを記載するセクションとして定義する。

※ 詳細は、「8.4.3. サマリ」参照

5. 記載の説明

5.1. HL7 CDA R2 仕様

JAHIS 診療文書構造化記述規約 共通編 Ver.2.0「5.1. HL7 CDA R2 仕様」を参照のこと。

5.2. 規定表の記載基準

JAHIS 診療文書構造化記述規約 共通編 Ver.2.0「5.2. 規定表の記載基準」を参照のこと。

6. 診療記録共通記述部

JAHIS 診療文書構造化記述規約 共通編 Ver.2.0「6. 診療記録共通記述部」を参照のこと。

7. CDA ヘッダ部

CDA ヘッダ部で記述すべき内容は、JAHIS 規約共通編に記載されている項目を共通使用する。

冠動脈 CT 検査レポートでは JAHIS 規約共通編に定義された項目を選択し、場合により制約を加え内容を記述する。

本規約では、CDA ヘッダ部を文書の識別、種類などを特定する CDA ヘッダ属性部と、文書の記入者、患者などの情報を記載するドキュメントヘッダ部として記載する。

7.1. CDA 文書のための XML 記述

JAHIS 診療文書構造化記述規約 共通編 Ver.2.0「7.1. CDA 文書のための XML 記述」を参照のこと。

7.2. CDA ヘッダの構成

JAHIS 診療文書構造化記述規約 共通編 Ver.2.0「7.2. CDA ヘッダの構成」を参照のこと。

7.3. 電子診療文書“ClinicalDocument”の構成

JAHIS 診療文書構造化記述規約 共通編 Ver.2.0「7.3. 電子診療文書 ”ClinicalDocument”の構成」を参照のこと。

以下は、共通編との差異のみ記載する。

(1) テンプレート ID “templateId” [1..1]

ドキュメントレベルのテンプレート ID を指定する。ここでは共通編としてのヘッダのテンプレート ID [1..1] と、冠動脈 CT 検査レポートのドキュメントレベルのテンプレート ID [1..1] を指定する。

- ① 共通に使用するヘッダのテンプレート ID : 1.2.392.200270.3.2.1.1.1.1 (共通編で規定)
- ② 冠動脈 CT 検査レポートのテンプレート ID : 2.16.840.1.113883.2.2.1.5.101

(2) 電子診療文書のコード、名称 “code” [1..1]

冠動脈 CT 検査レポートでは、以下の文書コード、名称を用いる。

- ① 文書コード : CCT25175-0
- ② 名称 : 冠動脈 CT 検査レポート

7.4. ドキュメントヘッダ情報

JAHIS 診療文書構造化記述規約共通編 Ver.2.0「7.4. ドキュメントヘッダ情報」を参照のこと。

8. CDA ボディ部

8.1. ボディ部定義

JAHIS 診療文書構造化記述規約共通編 Ver.2.0「8.1 CDA ボディ部定義」を参照のこと。

8.2. ボディ部構成

8.2.1. 冠動脈 CT 検査レポート Coronary CT examination Report

- (1) 概要
一般的な冠動脈 CT 検査レポートを作成する。
- (2) 冠動脈 CT 検査レポート XML 仕様

表 8.2-1 冠動脈 CT 検査レポート XML 仕様

テンプレート	2.16.840.1.113883.2.2.1.5.101 – Coronary CT examination report
ID	2.16.840.1.113883.2.2.1.5.101
バージョン	2025.5.1
クラス分類	CDA ドキュメントレベル テンプレート
解説	冠動脈 CT 検査レポートを作成する。

Sch.	XPath	Card.	Conf.	値	備考
	/ClinicalDocument				
	(CDA ヘッダ部)				7. CDA ヘッダ部参照
	component/structuredBody				
	component	0..1	O		componentsection [templateId/@root= '1.2.392.200270.3.2.1.1.2.1'] 8.3.1. 患者付帯情報参照
	component	1..1	M		section [templateId/@root= '2.16.840.1.113883.2.2.1.5.102'] 8.4.1. 検査情報参照
	component	1..1	M		section [templateId/@root= '2.16.840.1.113883.2.2.1.5.103'] 8.4.2. セグメント所見参照
	component	1..1	M		section [templateId/@root= '2.16.840.1.113883.2.2.1.5.104'] 8.4.3. サマリ参照

8.3. 共通セクション

8.3.1. 患者付帯情報

JAHIS診療文書構造化記述規約 共通編 Ver.2.0「8.3.1.患者付帯情報」を参照のこと。

8.4. 個別セクション

個別セクションには、冠動脈 CT 検査レポートに関する情報が記述される。各情報はセクション単位で構成され、検査情報、セグメント所見とサマリは必須である。

本規約で使用する各セクションの情報を以下に示す。各セクションのエントリ記述ブロックで使用するコードは、LOINCやJLAC10等、諸団体にコードが定義されている項目を使用する事が可能である。

8.4.1. 検査情報 Examination Information

(1) 概要

冠動脈 CT の検査に関する情報を入力する。

(2) 本セクション使用コード

検査情報項目コードにて定義されている項目コードを使用する。詳細は検査情報項目コード表を参照のこと。

(3) 検査情報記述XML仕様

表 8.4.1-1 検査情報記述 XML 仕様

Template : 検査情報セクション

テンプレート	2.16.840.1.113883.2.2.1.5.102 – Examination Information				
ID	2.16.840.1.113883.2.2.1.5.102				
バージョン	2025.5.1				
クラス分類	CDA セクションレベル テンプレート				
解説	検査情報を記載するセクションとして定義する。				

Sch	XPath	Card.	Conf.	値	備考
	component/section	1..1	M		検査情報
	templateId	1..1	M		
	@root	1..1	F	2.16.840.1.113883.2.2.1.5.102	検査情報のテンプレート ID を設定する
	code	1..1	M		
	@code	1..1	F	CCT-25176-0	検査情報を表すコードを設定する
	@displayName	1..1	F	Examination Information	検査情報を表す文字列
	@codeSystem	1..1	F	1.2.392.200250.3.2.100.700.19358409878	検査情報のコード体系を表す OID
	@codeSystemName	1..1	F	CCT-LOCAL	CCT-LOCAL を設定する
	title	1..1	M		
	text()	1..1	F	検査情報	
	entry	1..*	M		

		observation	1..1	M		
		@classCode	1..1	F	OBS	
		@moodCode	1..1	F	EVN	
		code	1..1	M		
		@code	1..1	F		検査情報項目コード 検査情報項目コード表にある項目コード列より選択
		@displayName	1..1	F		検査情報項目コードを示す文字列 検査情報項目コード表にある displayName 列より選択
		@codeSystem	1..1	F	1.2.392.200250.3.2.100.700.19358409878	検査情報項目コードのコード体系を示す OID
		@codeSystemName	1..1	F	CCT-LOCAL	検査情報項目コードのコード体系を示す文字列
		value	1..1	M		
		@xsi:type	1..1	F	ST/CD/PQ	
		@value	1..1	F		データタイプが ST/PQ のとき必須
		@code	1..1	F		データタイプが CD のとき必須 当該検査情報項目に含まれる選択肢コード。 検査情報項目コード表にある選択肢コード列より選択。
		@displayName	1..1	F		データタイプが CD のとき必須 当該検査情報項目に含まれる選択肢意味。 検査情報項目コード表にある選択肢意味列より選択。
		@codeSystem	1..1	M	1.2.392.200250.3.2.100.700.19358409878	検査情報項目コードのコード体系を示す OID
		@codeSystemName	1..1	M	CCT-LOCAL	検査情報項目コードのコード体系を示す文字列
		@unit	1..1	F		検査情報コード表に単位が指定されている場合必須

XML 記述サンプル

```

<component>
  <section>
    <templateId root="2.16.840.1.113883.2.2.1.5.102"/>
    <code code="CCT-25176-0" displayName="Examination information" codeSystem="1.2.392.200250.3.2.100.700.19358409878" codeSystemName="CCT-LOCAL"/>
    <title>"検査情報"</title>
    <entry>
      <observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
        <code code="CCT-25001-0" displayName="clinical diagnosis" codeSystem="1.2.392.200250.3.2.100.700.19358409878" codeSystemName="CCT-LOCAL"/>
      </observation>
    </entry>
  </section>
</component>

```

```

    <value xsi:type="ST" value="不安定狭心症"/>
  </observation>
</entry>
<entry>
  <observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
    <code code="CCT-25002-0" displayName="purpose of the examination"
codeSystem="1.2.392.200250.3.2.100.700.19358409878" codeSystemName="CCT-LOCAL"/>
    <value xsi:type="ST" value="スクリーニング"/>
  </observation>
</entry>
<entry>
  <observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
    <code code="CCT-25003-0" displayName="history of coronary artery disease"
codeSystem="1.2.392.200250.3.2.100.700.19358409878" codeSystemName="CCT-LOCAL"/>
    <value xsi:type="CD" code="CCT-A002" displayName="冠動脈インターベンション"
codeSystem="1.2.392.200250.3.2.100.700.19358409878" codeSystemName="CCT-LOCAL"/>
  </observation>
</entry>
<!-- 以下、項目数分記録 -->
</section>
</component>

```

8.4.2. セグメント所見 Findings by coronary artery segment

(1) 概要

セグメント毎の所見に関する情報を記載する。

セグメントは 16 個 (seg4 のみ、seg4AV と seg4PD の 2 つが存在する) 定義されており、セグメント毎に記録される。

(2) セグメント所見記述XML仕様

表 8.4.2-1 セグメント所見記述 XML 仕様

Template : セグメント所見セクション

テンプレート	2.16.840.1.113883.2.2.1.5.103 – Findings by coronary artery segment
ID	2.16.840.1.113883.2.2.1.5.103
バージョン	2025.5.1
クラス分類	CDA セクションレベル テンプレート
解説	セグメント所見を記載するセクションとして定義する。

Sch	XPath	Card.	Conf.	値	備考
	component/section	1..1	M		セグメント所見
	templateId	1..1	M		
	@root	1..1	F	2.16.840.1.113883.2.2.1.5.103	セグメント所見のテンプレート ID を設定する
	code	1..1	M		
	@code	1..1	F	CCT-25177-0	セグメント所見を表すコードを設定する
	@displayName	1..1	F	Findings by coronary artery segment	セグメント所見を表す文字列
	@codeSystem	1..1	F	1.2.392.200250.3.2.100.700.19358409878	セグメント所見のコード体系を表す OID
	@codeSystemName	1..1	F	CCT-LOCAL	
	title	1..1	M		
	text()	1..1	F	セグメント所見	
	entry	1..*	M		
	observation	1..1	M		
	@classCode	1..1	F	OBS	
	@moodCode	1..1	F	EVN	
	code	1..1	M		
	@code	1..1	F		セグメント所見項目コード セグメント所見項目コード表にある項目コード列より選択
	@displayName	1..1	F		セグメント所見項目コードを示す文字列 セグメント所見項目コード表にある displayName 列より選択
	@codeSystem	1..1	F	1.2.392.200250.3.2.100.700.19358409878	セグメント所見項目コードのコード体系を示す OID
	@codeSystemName	1..1	F	CCT-LOCAL	

			value	1..1	R		
			@xsi:type	1..1	F	CD/ST	
			@value	1..1	F		データタイプがST のとき必須
			@code	1..1	F		データタイプがCD のとき必須 当該セグメント所見項目に含まれる選択肢コード。 セグメント所見項目コード表にある選択肢コード列より選択。
			@displayName	1..1	F		データタイプがCD のとき必須 当該セグメント所見項目に含まれる選択肢意味。 セグメント所見項目コード表にある選択肢意味列より選択
			@codeSystem	1..1	M	1.2.392.200250.3.2.100.700.19358409878	セグメント所見項目コードのコード体系を示す OID
			@codeSystemName	1..1	M	CCT-LOCAL	セグメント所見項目コードのコード体系を示す文字列

(3) XML記述サンプル

```

<component>
  <section>
    <templateId root="2.16.840.1.113883.2.2.1.5.103"/>
    <code code="CCT-25177-0" displayName="Findings by coronary artery segment"
codeSystem="1.2.392.200250.3.2.100.700.19358409878" codeSystemName="CCT-LOCAL"/>
    <title>セグメント所見</title>
    <entry>
      <observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
        <code code="CCT-25013-0" displayName="seg1_Stenosis"
codeSystem="1.2.392.200250.3.2.100.700.19358409878" codeSystemName="CCT-LOCAL"/>
        <value xsi:type="CD" code="CCT-A017" displayName="軽度(1-49%)" />
      </observation>
    </entry>
    <entry>
      <observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
        <code code="CCT-25029-0" displayName="seg1_calcification"
codeSystem="1.2.392.200250.3.2.100.700.19358409878" codeSystemName="CCT-LOCAL"/>
        <value xsi:type="CD" code="LA137-2" displayName="なし" />
      </observation>
    </entry>
    <entry>
      <observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
        <code code="CCT-25045-0" displayName="seg1_PR" codeSystem="1.2.392.200250.3.
2.100.700.19358409878" codeSystemName="CCT-LOCAL"/>
        <value xsi:type="CD" code="LA33-6" displayName="Yes" />
      </observation>
    </entry>
  </entry>
</component>

```

```

    <observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
      <code code="CCT-25061-0" displayName="seg1_LA" codeSystem="1.2.392.200250.3.
2.100.700.19358409878" codeSystemName="CCT-LOCAL"/>
      <value xsi:type="CD" code="LA33-6" displayName="Yes"/>
    </observation>
  </entry>
  <entry>
    <observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
      <code code="CCT-25077-0" displayName="seg1_SC"
codeSystem="1.2.392.200250.3.2.100.700.19358409878" codeSystemName="CCT-LOCAL"/>
      <value xsi:type="CD" code="LA33-6" displayName="Yes"/>
    </observation>
  </entry>
  <entry>
    <observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
      <code code="CCT-25093-0" displayName="seg1_NR" codeSystem="1.2.392.200250.3.
2.100.700.19358409878" codeSystemName="CCT-LOCAL"/>
      <value xsi:type="CD" code="LA33-6" displayName="Yes"/>
    </observation>
  </entry>
  <entry>
    <observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
      <code code="CCT-25109-0" displayName="seg1_aneurysm" codeSystem="1.2.392.2002
50.3.2.100.700.19358409878" codeSystemName="CCT-LOCAL"/>
      <value xsi:type="CD" code="LA33-6" displayName="Yes"/>
    </observation>
  </entry>
  <entry>
    <observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
      <code code="CCT-25125-0" displayName="seg1_Stent" codeSystem="1.2.392.200250.
3.2.100.700.19358409878" codeSystemName="CCT-LOCAL"/>
      <value xsi:type="CD" code="LA33-6" displayName="Yes"/>
    </observation>
  </entry>
  <entry>
    <observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
      <code code="CCT-25141-0" displayName="seg1_Graft" codeSystem="1.2.392.200250.
3.2.100.700.19358409878" codeSystemName="CCT-LOCAL"/>
      <value xsi:type="CD" code="CCT-A021" displayName="LITA"/>
    </observation>
  </entry>
  <entry>
    <observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
      <code code="CCT-25157-0" displayName="seg1_comment" codeSystem="1.2.392.20025
0.3.2.100.700.19358409878" codeSystemName="CCT-LOCAL"/>
      <value xsi:type="ST" value="Comment"/>
    </observation>
  </entry>

```

```
        </observation>
    </entry>
<!-- 以下、セグメント数分繰り返し -->
    </section>
</component>
```

8.4.3. サマリ Summary

(1) 概要

冠動脈 CT 検査のサマリ（所見、診断）に関する情報を記載する。

(2) 疾患情報記述 XML 仕様

表 8.4.3-1 サマリ記述 XML 仕様

Template : 疾患情報セクション

テンプレート	2.16.840.1.113883.2.2.1.5.104 – Summary of coronary CT examination results
ID	2.16.840.1.113883.2.2.1.5.104
バージョン	2025.5.1
クラス分類	CDA セクションレベル テンプレート
解説	冠動脈 CT 検査のサマリを記載するセクションとして定義する。

Sch	XPath	Card.	Conf.	値	備考
	component/section	1..1	M		サマリ
	templateId	1..1	M		
	@root	1..1	F	2.16.840.1.113883.2.2.1.5.104	サマリのテンプレート ID を設定する
	code	1..1	M		
	@code	1..1	F	CCT-25178-0	サマリを表すコードを設定する
	@displayName	1..1	F	Summary of coronary CT examination results	サマリを表す文字列
	@codeSystem	1..1	F	1.2.392.200250.3.2.100.70 0.19358409878	サマリのコード体系を表す OID
	@codeSystemName	1..1	F	CCT-LOCAL	
	title	1..1	M		
	text()	1..1	F	サマリ	
	entry	1..1	M		所見
	observation	1..1	M		
	@classCode	1..1	F	OBS	
	@moodCode	1..1	F	EVN	
	code	1..1	M		
	@code	1..1	F	CCT-25173-0	所見項目コード サマリ項目コード表にある項目コード列より選択
	@displayName	1..1	F	CoronaryCT_comment	所見項目コードを示す文字列 サマリ項目コード表にある displayName 列より選択
	@codeSystem	1..1	F	1.2.392.200250.3.2.100.70 0.19358409878	サマリ項目コードのコード体系を示す OID
	@codeSystemName	1..1	F	CCT-LOCAL	サマリ項目コードのコード体系を示す文字列

			value	1..1	R		所見
			@xsi:type	1..1	F	ST	
			@value	1..1	M		所見内容を記載する
		entry		1..1	M		診断
		observation		1..1	M		
		@classCode		1..1	F	OBS	
		@moodCode		1..1	F	EVN	
		code		1..1	M		
		@code		1..1	F	CCT-25174-0	診断項目コード サマリ項目コード表にある項目コード列より選択
		@displayName		1..1	F	CoronaryCT_diagnosis	診断項目コードを示す文字列 サマリ項目コード表にあるdisplayName列より選択
		@codeSystem		1..1	F	1.2.392.200250.3.2.100.70 0.19358409878	サマリ項目コードのコード体系を示す OID
		@codeSystemName		1..1	F	CCT-LOCAL	サマリ項目コードのコード体系を示す文字列
		value		1..1	R		
		@xsi:type		1..1	F	ST	
		@value		1..1	M		診断内容を記載する

(3) XML 記述サンプル

```

<component>
  <section>
    <templateId root="2.16.840.1.113883.2.2.1.5.104"/>
    <code code="CCT-25178-0" displayName="Summary of coronary CT examination results"
codeSystem="1.2.392.200250.3.2.100.700.19358409878" codeSystemName="CCT-LOCAL"/>
    <title>サマリ</title>
    <entry>
      <observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
        <code code="CCT-25173-0" displayName="CoronaryCT_comment" codeSystem="1.2.39
2.200250.3.2.100.700.19358409878" codeSystemName="CCT-LOCAL"/>
        <value xsi:type="ST" value="LAD:#7 に混合型プラークによる高度な狭窄を認める"/>
      </observation>
    </entry>
    <entry>
      <observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
        <code code="CCT-25174-0" displayName="CoronaryCT_diagnosis" codeSystem="1.2.3
92.200250.3.2.100.700.19358409878" codeSystemName="CCT-LOCAL"/>
        <value xsi:type="ST" value="LAD#7 高度狭窄-CTO 疑い"/>
      </observation>
    </entry>
  </section>
</component>

```

付録 1. 本個別編で使用するコード類

付録 1.1 ヘッダ部

本規約で定義した、ドキュメントレベルのテンプレート ID および文書コードを示す。

(1) テンプレート ID

冠動脈 CT 検査レポートを記述する際のテンプレート ID<ClinicalDocument.templateid>を以下に示す。

表 A-1.1-1 ヘッダ部テンプレート ID

項目名	テンプレート ID
冠動脈 CT 検査レポート	2.16.840.1.113883.2.2.1.5.101

(2) ドキュメントコード

冠動脈 CT 検査レポートを記述する際のドキュメントコード<ClinicalDocument.code>には以下のコードを用いる。

表 A-1.1-2 ヘッダ部ドキュメントコード

ドキュメントコード	コードシステム	displayName (英語表記)	項目名
CCT-25175-0	CCT-LOCAL (1.2.392.200250.3.2.100.700.19358409878)	Coronary CT examination report	冠動脈 CT 検査レポート

付録 1.2 ボディ部

本規約で定義した、セクションレベル・エントリレベルのテンプレート ID、コード、およびコードシステムを示す。

表 A-1.1-3 ボディ部セクション一覧

セクション名	セクションコード	コードシステム	テンプレート ID
検査情報(冠動脈 CT)	CCT-25176-0	CCT-LOCAL (1.2.392.200250.3.2.100.700.19358409878)	2.16.840.1.113883.2.2.1.5.102
セグメント所見(冠動脈 CT)	CCT-25177-0	CCT-LOCAL (1.2.392.200250.3.2.100.700.19358409878)	2.16.840.1.113883.2.2.1.5.103
サマリ(冠動脈 CT)	CCT-25178-0	CCT-LOCAL (1.2.392.200250.3.2.100.700.19358409878)	2.16.840.1.113883.2.2.1.5.104

付録 1.3 コードシステムとコード表

共通編からの引用を含め、本個別編で利用しているコードシステムとコード表を示す。
本規約で利用しているコードシステムの名称と OID、使用値表を示す。

表 A-1.3-1 コードシステム一覧

コードシステムの名称	OID	使用値
HL7 V3 定義表 (nullFlavor)	2.16.840.1.113883.11.10609	JAHIS 診療文書構造化記述規約 共通編 Ver.2.0 「表 6-1 HL7 V3 定義表 nullFlavor 値」参照
HL7 V3 定義表 (住所区分)	2.16.840.1.113883.5.1119	JAHIS 診療文書構造化記述規約 共通編 Ver.2.0 「表 6-6 HL7 V3 定義表 住所区分」参照
HL7 V3 定義表 (電話番号区分)	2.16.840.1.113883.5.1119	JAHIS 診療文書構造化記述規約 共通編 Ver.2.0 「表 6-8 HL7 V3 定義表 電話番号区分」参照
HL7 V3 定義表 (実施の状態)	2.16.840.1.113883.5.14	JAHIS 診療文書構造化記述規約 共通編 Ver.2.0 「表 6-9 HL7 V3 定義表 実施の状態」参照
HL7 V3 定義表 (機密性コード)	2.16.840.1.113883.5.25	JAHIS 診療文書構造化記述規約 共通編 Ver.2.0 「表 7-1 HL7 V3 定義表 機密性コード」参照
HL7 V3 定義表 (性別)	2.16.840.1.113883.5.1	JAHIS 診療文書構造化記述規約 共通編 Ver.2.0 「表 7-3 HL7 V3 定義表 性別」参照
HL7 V3 定義表 (婚姻情報)	2.16.840.1.113883.5.2	JAHIS 診療文書構造化記述規約 共通編 Ver.2.0 「表 7-4 HL7 V3 定義表 婚姻情報」参照
HL7 V3 定義表 (関係情報)	2.16.840.1.113883.5.111	JAHIS 診療文書構造化記述規約 共通編 Ver.2.0 「表 7-5 HL7 V3 定義表 関係情報」参照
HL7 V3 定義表 (宗教)	2.16.840.1.113883.5.1076	HL7 V3 定義表 ReligiousAffiliation 参照
HL7 V3 定義表 (人種)	2.16.840.1.113883.5.104	HL7 V3 定義表 Race 参照
HL7 V3 定義表 (民族)	2.16.840.1.113883.5.50	HL7 V3 定義表 Ethnicity 参照
HL7 V3 定義表 (対話言語)	2.16.840.1.113883.6.121	HL7 V3 定義表 Language 参照
HL7 V3 定義表 (言語能力)	2.16.840.1.113883.5.60	HL7 V3 定義表 LanguageAbilityMode 参照
HL7 V3 定義表 (対話言語の堪能レベル)	2.16.840.1.113883.5.61	HL7 V3 定義表 LanguageAbilityProficiency 参照
HL7 V3 定義表 (職務)	2.16.840.1.113883.5.88	JAHIS 診療文書構造化記述規約 共通編 Ver.2.0 「表 7-20 HL7 V3 定義表 職務」参照
HL7 V3 定義表 (情報提供者の属性)	2.16.840.1.113883.5.111	HL7 V3 定義表 RoleCode 参照
HL7 V3 定義表 (患者との関係を示す属性) HL7 V3 定義表 (対象受信者)	2.16.840.1.113883.5.110	HL7 V3 定義表 RoleClass 参照
HL7 V3 定義表 (署名コード)	2.16.840.1.113883.5.89	JAHIS 診療文書構造化記述規約 共通編 Ver.2.0 「表 7-15 HL7 V3 定義表 署名コード」参照
HL7 V3 定義表 (関係者) HL7 V3 定義表 (実施者)	2.16.840.1.113883.5.90	HL7 V3 定義表 ParticipationType 参照
HL7 V3 定義表 (サービスイベント)	2.16.840.1.113883.5.6	JAHIS 診療文書構造化記述規約 共通編 Ver.2.0 「表 7-19 HL7 V3 定義表 サービスイベントクラス」参照
HL7 V3 定義表 (検査・診療等行為)	2.16.840.1.113883.1.11.11610	JAHIS 診療文書構造化記述規約 共通編 Ver.2.0 「表 7-22 HL7 V3 定義表 文書関係種別」参照

UCUM (年齢単位)	2.16.840.1.113883.6.8	JAHIS 診療文書構造化記述規約 共通編 Ver.2.0 「表 8-12 年齢単位」参照
LOINC (年齢分類例)	2.16.840.1.113883.6.1	JAHIS 診療文書構造化記述規約 共通編 Ver.2.0 「表 8-13 年齢分類例」参照
LOINC (年齢)	2.16.840.1.113883.6.1	30525-0
ICD10	2.16.840.1.113883.6.3	ICD-10 Version:2019 [https://icd.who.int/browse10/2019/en (cited 2021-Aug-23)]
ICD-O-3	2.16.840.1.113883.6.43.1	International classification of diseases for oncology (ICD-O) – 3rd edition, 1st revision, 3rd ed. [https://apps.who.int/iris/handle/10665/96612 (cited 2021-Aug-23)]
TNM Edition8 UICC	2.16.840.1.113883.15.16	
TNM Edition7 UICC	2.16.840.1.113883.15.6	
LOINC (ECOG Performance Status score)	1.3.6.1.4.1.12009.10.1.3096	89247-1 [https://ecog-acrin.org/resources/ecog-performance-status (cited 2021-Aug-23)]
JROD	1.2.392.200270.4.1000.2	JROD 基本項目入力要領 (ver. 1.2) [http://jrod.jastro.or.jp/]
LOINC (病側)	1.3.6.1.4.1.1200.9.10.1.2446	LOINC AnswerList LL3803-5 左 : LA4585-1 右 : LA4306-2 両 : LA25377-5
CCT-LOCAL	1.2.392.200250.3.2.100.700.19358409878	SEAMAT 冠動脈 CT マスタ表参照 [https://j-circ.or.jp/itdata/jcs_standard.htm]

付録 2. 作成者名簿（敬称略）

日本医学放射線学会

真鍋 徳子（自治医科大学附属さいたま医療センター）

石神 康生（九州大学）

林 宏光（日本医科大学）

城戸 輝仁（愛媛大学病院）

陣崎 雅弘（慶應大学病院）

山崎 誘三（九州大学病院）

日本循環器学会

的場 哲哉（九州大学）

竹花 一哉（関西医大病院）

仲野 泰啓（九州大学病院）

宮本 恵宏（国立循環器病研究センター）

西 真宏（京都府立医科大学）

陣崎 雅弘（慶應大学病院）

中山 雅晴（東北大学）

キヤノンメディカルシステムズ（株）

若林 諭

島西 聡

塩川 康成

【協力】

IHE-J 循環器技術委員会

日本心血管インターベンション治療学会

日本心臓病学会

日本冠疾患学会

改定履歴		
日付	バージョン	内容
2025/7/10	Ver. 1.0	初版

2025 年 7 月発行

JCS 冠動脈 CT 検査レポート構造化記述規約 Ver.1.0

発行元 一般社団法人 日本循環器学会

〒101-0047 東京都千代田区内神田1丁目18番13号
(内神田中央ビル6階)

電話 03-6775-9111

(無断複写・転載を禁ず)